動産損害額見積書

分類：家具（ / 枚）

組合員証記号番号	
組合員氏名	

品名	数量	取得価格 A	取得年	経過年数	耐用年数	残存率 B	り災前価格 A×B=C	り災率 D	損害額 C×D	備考
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
計										

調査書③へ

調査書④へ

記入上の注意

- り災前に存在した動産のうち**社会生活上必要であるもの**を、り災していない物件も含めて、可能な限り全て記入してください。
- 耐用年数については、別添資料又は「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）をご参照ください。
- 「残存率B」は〔1 - (経過年数 ÷ 耐用年数)〕で計算し、小数点2けた未満は四捨五入してください。計算結果が0.1未満の場合は0.1としてください。
- り災率については、全損を1として、り災の割合を記入してください。
- この計算方式によらない場合は、備考欄にその理由を記載願います。
- 1枚で記入しきれない場合は、コピーのうえ記入してください。

動産損害額見積書

分類：電気製品（ / 枚）

組合員証記号番号	
組合員氏名	

品名	数量	取得価格 A	取得年	経過年数	耐用年数	残存率 B	り災前価格 A×B=C	り災率 D	損害額 C×D	備考
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
計										

調査書⑤へ

調査書⑥へ

記入上の注意

- り災前に存在した動産のうち**社会生活上必要であるもの**を、り災していない物件も含めて、可能な限り全て記入してください。
- 耐用年数については、別添資料又は「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）をご参照ください。
- 「残存率B」は〔1－（経過年数÷耐用年数）〕で計算し、小数点2けた未満は四捨五入してください。計算結果が0.1未満の場合は0.1としてください。
- り災率については、全損を1として、り災の割合を記入してください。
- この計算方式によらない場合は、備考欄にその理由を記載願います。
- 1枚で記入しきれない場合は、コピーのうえ記入してください。

動産損害額見積書

分類：寝具、衣類（ / 枚）

組合員証記号番号	
組合員氏名	

品名	数量	取得価格 A	取得年	経過年数	耐用年数	残存率 B	り災前価格 A×B=C	り災率 D	損害額 C×D	備考
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
計										

調査書⑦へ

調査書⑧へ

記入上の注意

- り災前に存在した動産のうち**社会生活上必要であるもの**を、り災していない物件も含めて、可能な限り全て記入してください。
- 耐用年数については、別添資料又は「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）をご参照ください。
- 「残存率B」は〔1－（経過年数÷耐用年数）〕で計算し、小数点2けた未満は四捨五入してください。計算結果が0.1未満の場合は0.1としてください。
- り災率については、全損を1として、り災の割合を記入してください。
- この計算方式によらない場合は、備考欄にその理由を記載願います。
- 1枚で記入しきれない場合は、コピーのうえ記入してください。

動産損害額見積書

分類：その他（ / 枚）

組合員証記号番号	
組合員氏名	

	品名	数量	取得価格 A	取得年	経過年数	耐用年数	残存率 B	り災前価格 A×B=C	り災率 D	損害額 C×D	備考
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
	計										

調査書⑨へ

調査書⑩へ

記入上の注意

- り災前に存在した動産のうち**社会生活上必要であるもの**を、り災していない物件も含めて、可能な限り全て記入してください。
- 自家用車は、組合員及び被扶養者が常用するものに限ります。
- 耐用年数については、別添資料又は「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）をご参照ください。
- 「残存率B」は〔1－（経過年数÷耐用年数）〕で計算し、小数点2けた未満は四捨五入してください。計算結果が0.1未満の場合は0.1としてください。
- り災率については、全損を1として、り災の割合を記入してください。
- この計算方式によらない場合は、備考欄にその理由を記載願います。
- 1枚で記入しきれない場合は、コピーのうえ記入してください。

耐用年数に関する参考資料

分類	品名	耐用年数	主なもの（参考）
家具	子供机、いす	5年	
	応接セット	8年	
	ベット	8年	
	主として金属製家具	15年	スチール製机、椅子、ロッカー、本棚など
	その他の素材の家具	8年	木製机、椅子、たんす、本棚、テーブル、食器棚、鏡台、仏壇など
電気製品	冷暖房機器	6年	エアコン、ストーブ、扇風機、こたつ等
	電気冷蔵庫、電気洗濯機	6年	
	ラジオ、テレビ、ステレオその他音響機器	5年	他にビデオデッキ、DVDデッキなど
	パソコン	4年	プリンター、周辺機器を含む
	その他の電気製品	6年	掃除機、炊飯器、照明器具、電子レンジなど
寝具衣類	カーテン、絨毯、座布団、寝具、衣類	3年	
その他	電話	10年	
	インターフォン	6年	
	コピー機	5年	
	ファックス	5年	
	ガスコンロ、ガス炊飯器	6年	
	カメラ	5年	デジタルカメラ、ビデオカメラを含む
	時計	10年	
	室内装飾品（金属製）	15年	
	室内装飾品（その他の素材）	8年	
	自転車	2年	
	自動車	4年	営業用、農業用車両を除く

動産損害額見積書

分類：家具（1／1枚）

記入例

組合員証記号番号	999 - 1234
組合員氏名	共済 洋

品名	数量	取得価格 A	取得年	経過年数	耐用年数	残存率 B	り災前価格 A×B=C	り災率 D	損害額 C×D	備考
1 洋服ダンス	2	800,000	h 20	6	8	0.25	200,000	1	200,000	
2 和ダンス（桐）	1	500,000	s 62	27	8	0.1	50,000	1	50,000	
3 ベット	2	240,000	h 15	11	8	0.1	24,000	1	24,000	
4 本棚	3	360,000	h 10	16	8	0.1	36,000	1	36,000	
5 スチール机	1	70,000	h 23	3	15	0.8	56,000	1	56,000	
6 スチール椅子	1	15,000	h 23	3	15	0.8	12,000	1	12,000	
7 鏡台	1	60,000	s 62	27	8	0.1	6,000	1	6,000	
8 子供勉強机及び椅子	2	80,000	h 8	18	5	0.1	8,000	0	0	
9 子供部屋2段ベット	1	70,000	h 15	11	5	0.1	7,000	0	0	
10 子供部屋本棚	1	20,000	h 8	18	8	0.1	2,000	0	0	
11 食卓テーブル及び椅子	1	250,000	h 24	2	8	0.75	187,500	1	187,500	
12 食器棚	1	185,000	h 24	2	8	0.75	138,750	1	138,750	
13 応接セット	1	350,000	h 13	13	8	0.1	35,000	1	35,000	
14 AVボード	1	50,000	h 24	2	8	0.75	37,500	1	37,500	
15										
計		3,050,000					799,750		782,750	

調査書③へ

調査書④へ

記入上の注意

- り災前に存在した動産のうち**社会生活上必要であるもの**を、り災していない物件も含めて、可能な限り全て記入してください。
- 耐用年数については、別添資料又は「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）をご参照ください。
- 「残存率B」は「1 - (経過年数 ÷ 耐用年数)」で計算し、小数点2けた未満は四捨五入してください。計算結果が0.1未満の場合は0.1としてください。
- り災率については、全損を1として、り災の割合を記入してください。
- この計算方式によらない場合は、備考欄にその理由を記載願います。
- 1枚で記入しきれない場合は、コピーのうえ記入してください。